

5-3 重点産業利用課題

1. はじめに

2007年1月26日に領域指定型の重点研究課題の一つとして承認された重点産業利用課題は2007年4月1日から2008年度末までの期限であったが、2008年10月2日に重点産業利用領域の有効期間が延長されて2011年度末までとなった。本施策では、「新規利用者」、「新領域」、「産業基盤共通」と「先端技術開発」の四つに大別して課題募集を実施している。現行の2回/年という課題募集では利用サイクルが長いと、産業界のニーズに合わないとの産業界からの要望に応えることを目的として、2007B期から、産業利用Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの3本のチームラインでは、各期A期、B期の課題募集を2回（年4回の課題募集）に分けて実施している。また、2008A期から産業利用Ⅲチームライン（BL46XU）において、新たに硬X線光電子分光手法も供用開始した（詳しくは、「3.3 実験ステーション」のうち、BL46XUの項に記載）。さらに、先の戦略活用プログラムで実施された特許取得や製品化などの理由で最大2年間の報告書公開延滞期が認められる制度（但し、報告書は所定の期日までに提出）は、利用ニーズに応えるべく本施策である「重点産業利用課題」においても継承し、実施した。

2. 応募・採択状況

2-1 2008A利用期

2008A期の公募結果を表1に示す。2008A期の合計では、146課題の応募のうち115課題が採択されたことになり、配分チームタイムが2007年とは等しくないで単純には比較できないものの、2007年に比べて応募総数は約1.5倍増加すると共に、平均79%の採択率となり、2007年に比べて競争率が高くなっている。このことから、今期は公募説明会の実施を省略したが、この影響は出ていないこと、また、重点産業利用課題が認知されつつあることが分かる^[1]。なお、その後1課題はキャンセル、4課題は1年課題として実施されたため、実施課題は118課題である。

表1 2008A期 研究機関別応募・採択結果

募集時期	機関分類	応募数	採択数
第1回募集	学官	36	29
	産業界	57	47
	合計	93	76
第2回募集	学官	22	16
	産業界	31	23
	合計	53	39

2-2 2008B利用期

2008B期の公募結果を表2に示す。2008B期の合計では、195課題の応募のうち91課題が採択されたことになり、平均47%の採択率と競争率が急激に高くなっている。特に、第2回目の募集では、平均32%の採択率と非常に厳しい競争率になっている。この第2回目の募集で対象となるチームラインは、BL19B2（産業利用Ⅰ）、BL14B2（産業利用Ⅱ）、BL46XU（産業利用Ⅲ）の3本のチームラインである。この結果は、次章においても指摘している通り、成果専有課題の増加に因るところが大である。即ち、産業利用Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの各チームラインにおいて、重点産業利用課題に配分されるチームタイムが成果専有課題の増加によって絶対的に少なくなったことに起因している。このことは、SPring-8を利用した実験を確実に実施したいというユーザー（主に民間企業ユーザー）が急激に増加していることを示している^[2]。

表2 2008B期 研究機関別応募・採択結果

募集時期	機関分類	応募数	採択数
第1回募集	学官	37	16
	産業界	73	48
	合計	110	64
第2回募集	学官	37	12
	産業界	48	15
	合計	85	27

3. 産学官の動向

本プログラムにおいて導入した「産業基盤共通」の課題は、2008A期では5課題が採択され、その全ての課題において申請代表者が学官の研究機関である。また、2008B期では6課題が採択され、そのうちの5課題において申請代表者が学官の研究機関である。この結果は、本プログラムで意図している産学官連携の推進の観点から好ましい結果である。しかしながら、産学官連携の推進の方針に合致したものであるかを今後注意深く見守る必要がある。

4. 報告書公開延滞制度の利用

本プログラムで実施した課題のうち、39課題（2008A期：22課題。2008B期：17課題）で知的所有権取得や製品化など事業展開の理由から報告書公開延滞申請が提出された（表3、表4）。報告書公開延滞制度は産業界のニーズに適していること、また、企業における事業上の成果に直結していることを示す結果である。今後は公開延滞期間満了

時に報告してもらう公開延期理由の結果・成果を精査する
予定である。

表3 2008A期 分野別公開日延期許可課題
(公開日延長不許可なし)

分野	課題件数
エレクトロニクス	8
環境・エネルギー	5
素材(金属・高分子等)	6
製薬・生活用品	2
その他	1
合計	22

表4 2008B期 分野別公開日延期許可課題
(公開日延長不許可なし)

分野	課題件数
エレクトロニクス	5
環境・エネルギー	5
素材(金属・高分子等)	6
製薬・生活用品	1
その他	0
合計	17

5. 重点産業利用課題成果報告会の開催

2007B期に支援を行った重点産業利用課題の成果報告会
を2008年9月18日～19日に東京の日本科学未来館において
実施した^[3]。

参考文献

- [1] http://support.spring8.or.jp/Report_JSR/Jsr_20A.html
 [2] http://support.spring8.or.jp/Report_JSR/Jsr_20B.html
 [3] http://support.spring8.or.jp/event/sangyo_080918_19.html

産業利用推進室
渡辺 義夫